

取付・取扱説明書

はじめに

この度は、D-SPORT製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品の取付取り扱いについての要領と注意を記載してあります。安全に正しく装着していただくために、装着作業前にこの取付・取扱説明書を最後までお読みいただき、装着上の注意事項、本製品の性能などについて充分にご理解の上、正しく使用していただくようお願いいたします。なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

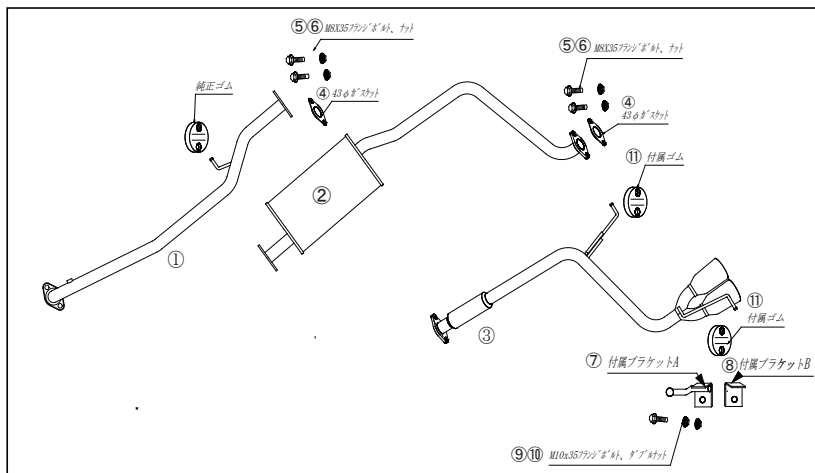
適応車種

※作業をはじめる前に適応車種と品番が合っているか確認してください。

車名	型式	適応年式	エンジン型式	駆動型式	トランスミッション	品番
ダイハツトール トヨタ タンク・ルーミー スバル ジャスティ	DBA-M900S DBA-M900A DBA-M900F	2016年11月～	1KR-FE	2WD	CVT	17400-B270

構成部品

※作業をはじめる前に構成部品がそろっているか確認してください。



	品名	数量
①	フロントマフラー	1
②	センターマフラー	1
③	リアマフラー	1
④	ガスケット 43φ	2
⑤	M8X35フランジボルト	4
⑥	M8フランジナット	4
⑦	付属ブラケットA	1
⑧	付属ブラケットB	1
⑨	M10X35 フランジボルト	1
⑩	M10フランジナット	2
⑪	付属ゴム	2

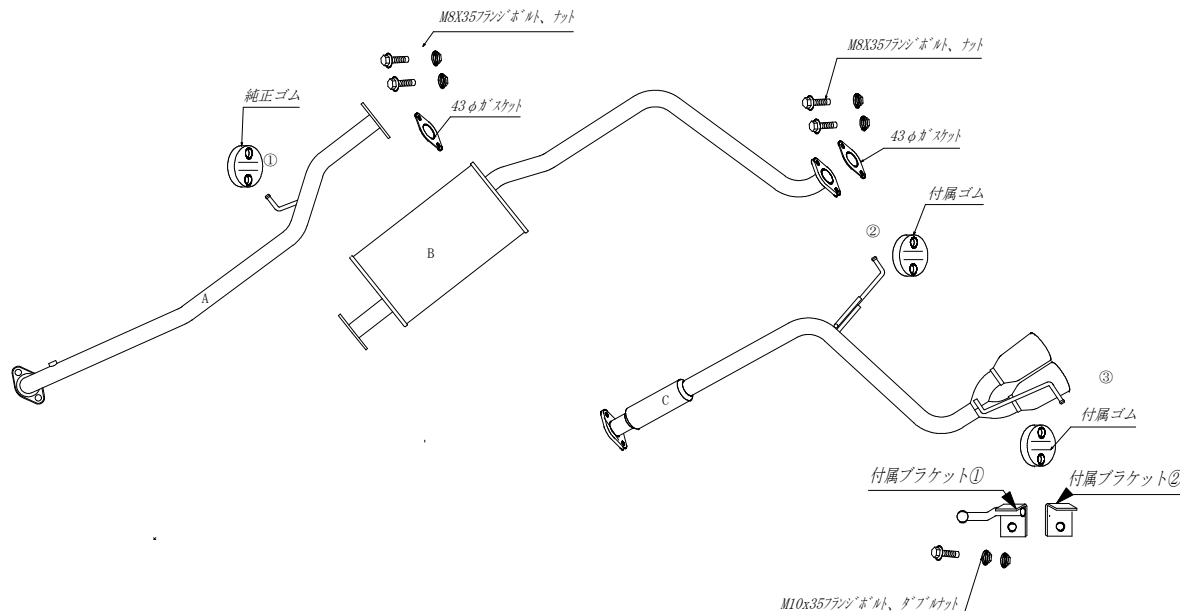
取付上の注意事項

- 本文中の **△ご注意** を守って作業してください。もし **△ご注意** を無視して取付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障や事故につながる恐れがあります。
- 本製品は「道路運送車両の保安基準」を満足しておりますので、一般公道でも安心してご使用いただける保安基準適合製品です。但し、本製品以外の改造を行なっている場合、または、使用状況においては、その限りではない場合がありますのでご了承ください。
特に車高を下げた改造を伴う場合、最低地上高90mmの確認をしてください。
※最低地上高は車両ホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります。
- 保安基準に適應する為、取付には純正品と同様、触媒やシールド等を取り外さずに取付けてください。
- 本書で指示した以外の車両部品を取外さないでください。
- △ご注意** 本製品の車体への組み付けは、必ず資格のある認証工場で行ってください。
- △ご注意** 車種別設計になっておりますので、適応車種以外の車両には絶対に使用しないでください。
- △ご注意** 本製品を改造しての取付は絶対に行なわないでください。
- △ご注意** 交換時はエンジンを停止して冷却を確認してから作業してください。

※組み付け不良により発生した破損事故等について、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

新規制対応

名称	型式	品番	車名	車両型式	年式	エンジン型式	構成部品及び付属品リスト	
SPECIAL	SP8004	17400-B270	ダイハツ トール トヨタ タンク、ルーミー スバル JUSTY	DBA-M900S DBA-M900A DBA-M900F		1KR-FE	品名	数量
							本体(A)	1
							本体(B)	1
							本体(C)	1
							本取扱説明書	1



ガasket 43φ	2
M8X35フランジボルト	4
M8フランジナット	4
付属ブラケット①	1
付属ブラケット②	1
M10X35 フランジボルト	1
M10フランジナット	2
付属ゴム	2

最低必要工具

メガネレンチ	12mm14mm
ソケットレンチ	12mm14mm
トルクレンチ	

☆ご注意ください。
記載の適合車両型式以外への取付は、新規制対象外になります。

組付作業手順

警告!

作業中の怪我・火傷

装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。
【(1)ご使用前に】を十分に理解した上で作業を実施してください。
※ 装着作業は必ず2名以上で行なってください。
※ 文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

- 「本体(A)の仮組付け」
本体(A)の取り付けブラケット①を純正ゴムに確実に差し込み
純正フロントパイプ後側フランジと本体(A)フランジの間に、純正ガスケットを挟み、
純正ボルトを差し込み、仮締め付けして下さい。
- 「本体(B)の仮組み付け」
本体(B)フランジと本体(A)フランジの間に、付属ガスケットを挟み、
付属M8x35フランジボルトを差し込み、付属ナット(M8フランジ)にて仮締め付けして下さい。
- 「本体(C)の仮組み付け」
添付画像の様にリアバンパー裏のブラケットを利用し、付属ブラケット①②で挟み込む様にして、
付属M10x35フランジボルトにて仮締結します。
付属ブラケット①に付属ゴムを確実に差し込み、本体Cのブラケット②も付属ゴムに交換し
確実に差し込みます。

本体(C)フランジと本体(B)フランジの間に、付属ガスケットを挟み、
付属M8x35フランジボルトを差し込み、付属M8フランジナットにて仮締め付けして下さい。

- 「全体の位置合わせ」
全体の仮組が出来ましたら、各部のクリアランスを確認し、本体Cの位置合わせを確認しながら、
車体フロント側から付属M8x35フランジボルト、M8フランジナットを本締めしていきます。
フランジ部本締めが完了しましたら、付属ブラケット締結部のM10*35ボルト、ナットを本体Cと
バンパーの位置合わせをしながら本締めします。
本締め後緩み防止の為にダブルナットにて締結。

全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認して
ください。エンジンを始動して暖気し、約2500回転にして各フランジからの排気漏れ、又は
各部の異常音を点検してください。運転して再度、各フランジからの排気漏れ、又は各部の異
常音を点検してください。異常があれば最初からやり直して下さい。
《面倒でも必ず最初からやり直して下さい。》

以上で当社マフラーの装着が完了しました。
もう一度本取扱説明書をよく読んで安全で快適なドライブをしましょう。

お願い!

装着後200~300km走行した後にもう一度各部のボルト類の
増し締めと、各フランジ間のガス漏れの点検をして下さい。

2017.11.20 作成